



第84号 (季刊)  
平成19年10月  
田中野田町内会

<http://townweb.e-okayamacity.jp/tanakanoda/>

## 安全安心の町内活動

田中野田町内会 会長 和 気 健

今年の夏は、ことのほか暑さの厳しい日が多く、悲鳴を上げたくなる日々の連続でした。このところやっと、秋らしくなりましたが、お元気でお過ごしでしょうか。

また、町内会の最大イベントである夏祭りも皆様方のご協力を頂き、無事終えることが出来ました。心より感謝申し上げます。

さて、去る9月4日に、町内では数十年ぶりに大きな火事がありました。9組の遠藤さん宅が隣の建設業者の倉庫が不審火で出火した後、類焼するという誠にお気の毒なことになりました。

町内会としては、直ちに役員同士連絡を取り合い、テント、机、椅子、照明灯等の設営し、受け付けの手伝いをさせていただきました。また翌日の、片付けには、ご近所をはじめ、多くの町内の方のご参加がありました。遠藤さんご自身も「町内の多くの方々に、助けていただきました」、「大変ありがとうございました」と感謝の言葉を頂いておりますのでお伝えいたします。



近年、町内会でも安全・安心のまちづくりの取り組みとして、夜間

パトロール、学童の見守り等の取り組みが行われていますが、その原点は消防活動にあることを改めて感じさせられました。

このところ連続して、周辺地域で自動販売機が燃える等、不審火による事件が起きています。まず、夜の見回りパトロールを充実させていくことを考えなくてはなりません。

二つ目は、町内には消火栓から直結し、防火活動のできる、消化器具を設置しています。しかし、今回すぐそばにその器具があるにもかかわらず使われることはありませんでした。「もしも、消火器具を用いた初期消火が素人なりにでも行われていたならば」と思うと残念でなりません。

そんなことから、機会を捉え実際に役立つ消火栓を用いた消火訓練を行いたいと思っています。消火栓を実際に使うと水道水が濁り、近隣の理解が得られないとの判断で、近年その訓練もリアルさに欠ける内容でしたが、許されるならば、出来るだけ実際に近い形で行いたいと思っています。

いずれにしても、近隣同士で助け合う「共助」を受け持つのが町内会の役目。「助け合い」、「支え合い」の町内会活動に一層のお力をお貸し下さい。

最後になりますが、スポーツに、読書に最適の季節を迎えます。今まで暑さでやりたくても出来なかったことに挑戦し、実りある時をお過ごし下さいませようお祈り申し上げます。